

各委員会での主な審査概要

議会基本条例策定 特別委員会

6月22日に開催された委員会では、各条例の条文について10回目の検討を行った。

「会派」について

意見 会派の役割について、会派希望案の第3項「会派は、政策の立案及び提言等に際し、必要に応じて会派間の調整に努めるものとする。」を「会派間で協議及び調整を行い、円滑かつ効果的な議会運営に努める。」という条文に改めた。

意見 議会運営は議会運営委員会を中心に協議するものであるため、「会派」に関する条項には入れるべきではない。

意見 会派希望案の第2項「会派は、同一の理念及び政策を共有する議員で構成する。」は、議案の賛否を拘束するものではないことを確認したい。

協議結果 第2項は議案の賛否を拘束するものではないことを確認。その上で、引き続き検討を要することとした。

「報酬」について

議員報酬の在り方と、委員会または議員が、報酬改定案を提出するときの基本姿勢についての条文を併記する案について協議した

協議結果 合意には至らず、引き続き検討を要することとした。

「会議等の公開」について

意見 第2項の「議会は、市民が会議等を傍聴しやすい環境の整備に努めるものとする。」という条項については、「市民と議会との関係」に関する条項に追加し、「会議等の公開」に関する条項は削除してはどうか。

協議結果 全会一致で内容を確認した。

「前文」について

会派希望から提示されていた文案を基に、前回の委員会での意見を受け、修正してきた修正案により、協議した。

意見 一部文言が抽象的である。

協議結果 引き続き検討を要することとした。

(落合範良)

総務企画委員会

財政調整基金の見通しは。

質 令和2年度当初予算においては、約15億円を繰り入れる編成であったが、新型コロナウイルスに関する様々な経済対策等により、債務負担行為を含め約9億円の追加繰入の見込みとなり、元年度末の基金残高約54億円から現在約31億円に減少している。国の1次補正において、市に対する地方創生臨時交付金の上限として示された額は2億3666万1000円であり、2次補正においても同等程度の率での交付となれば、その分がある程度は補填できると考えている。ただ、今後においても新型コロナウイルスに関する対策が必要になると考えられることから、当初の想定よりも大変厳しい状況になるものと予想している。

質 避難所内感染防止用備蓄品の購入内訳と、その使用期限は。

答 高さ1・4メートル程度のパーティション100張り、マスク1万枚程度、使い捨て手袋、非接触型赤外線体温計10個を予定している。マスクの使用期限は示されていないが、古いものから順次使用していきたい。

質 今回、前年度の積み残しが出たふるさと納税の状況は。

答 前年度の基金積立金予算について、当初で7000万円の計上、12月補正

で500万円の追加、2月補正で2500万円の追加をし、合計1億円とした。寄附金額が予想以上に伸び、最終的には、約1億400万円に達したことから、今回、差額分を積立しようとするものである。

今年度のふるさと納税の状況は。

答 寄附の状況は6月14日時点において1136件、1842万5000円であり、前年同期比で約2倍となっている。返礼品の登録も増加しており、72事業者、313品の登録となっている。パンフレット等にビジュアル良く掲載するなどの工夫を凝らしたい。

青葉台自治会館建設に対する助成決定までの経緯は。

答 毎年9月、全ての自治会長、町内会長に対し、地域集会所建設等に係る市補助金要望の確認を行い、その際、コミュニティ助成事業についても情報提供している。今回、青葉台自治会を含む2件の要望があり、県に対し全ての申請書を提出した。申請は、各都道府県当たり上限3件であるため、これを上回る場合は、各市町村の採択実績申請団体の財政状況等により県が選考し、一般財団法人自治総合センターへ申請している。県においては、初めての建設であること等を理由に当該自治会を選考し、同センターにより採択されたものと考えている。

(渡邊正人)